

お客様訪問

新社屋完成・福利厚生も充実

作業効率の向上を実現

工業・精密機械のパネル印刷やシール印刷、点字印刷、スクリーン印刷、パッド印刷、インクジェット印刷、CNC加工、レーザー加工、トムソン加工、カッティングプロッター加工等、あらゆるニーズに素早く対応するプリントス(株)(堺貴弘社長)は、この程、業務拡張に伴い本社社屋を移転した。

プリントス(株)は、1977年3月の創業以来、スクリーン印刷を手掛け1986年一宮市富塚に本社工場を新築移転し増改築を行なってきたが、今回2019年3月新社屋を竣工。一宮市富塚から一宮市佐千原へ移転した。新社屋は、延べ床面積約440坪+広い駐車スペースを確保しており、通路幅や更衣室、休憩室、明るい食堂、会議室なども社員さんのことを考え充実されており、従来の本社工場の1.8倍となったことで、設備レイアウトの自由度とそれに伴う、スムーズな動線を確認し、作業効率の向上を実現した。

■社屋移転について 今回の移転について 堺社長は、次の様に述べた。

「以前の社屋が手狭になってきていたのと車通勤の方がほとんどで、駐車場の問題や社員さんも以前の会社に近い方が多かったこともあり、3年前前から近い場所での土地を探していたのですが、なんとか現在の土地を得ることが出来ました。」



堺社長

全員が災害の模擬体験を行ない、共通体験を通じて、非常事態下での最適な判断・行動とは何かを学ぶ予定であるとしました。

■業務内容について また、主な業務については、次の様に語っている。

「弊社は、同業者の仕事は、ほとんど無くメーカー様との直接取引に拘っています。工作機械を製造しているメーカー様や医療機器や券売機、エレベーターなどを造っている会社がお客様となります。製品によっては屋外、半屋外で使用されるものもあり取り付けられる表示パネルは、紙以外の素材で造られており、それなりに高価なもので見栄えも良くなくてはならず、プラスチックで造られたものも多く、シルク印刷になつているのも耐光性が高い為、屋外で使用するのに適しているのので、プラスチック+シルク印刷が多かったの

です。今は板金に直接印刷したり、フィルムに変わったりという物はありますが、基本はプラスチックで造ったものに印刷をしており、ですからメーカー様との直接取引をさせて頂くうえで、打合せも設計様や開発様との打合わせも多くあります。そうした中で色々な方法や材料なども目的や使用箇所、用途に応じてご提案させて頂けます」と同社の利便性を語った。

プリントス(株)堺貴弘社長に聞く

「プリントス(株)堺貴弘社長に聞く」のインタビュー。社長は、そういつた方たちの受け皿になれたいという思い、「マイカラー」というサイマルを立ち上げて印刷のお手伝いをさせて頂いておられます。想定していたのは自分の為にオリジナルなものを作った印刷したいという方がいるのではないかと考えていたのですが、実際にはプレゼント用で結婚式や誕生日、クリスマスなどに自分の大切な人に贈る為に、商材は買って

プリントス(株) 〒491-0124 愛知県一宮市佐千原字垣崎61番地 TEL0586-52-5077 FAX0586-52-5088 URL http://www.printos.co.jp

えることを目的とした総合印刷サイトで、個人の「想いや発想、マイカラー」を、お客様と共に形にしていける中で唯一・オリジナル・自分を作ったという喜びを、共に分かち合えるサービスを展開している。



新本社全景

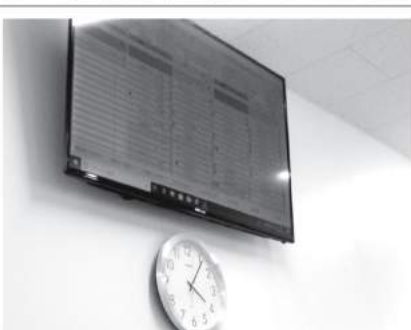
■今後の構想について また、今後の構想については、「樹脂の切削に特殊印刷という事業を伸ばしていきたい。そしてお客様を関東圏を増やしていきたい」といいます。なぜかと言うと国内の市場は東京

人精算機関連のお客様以外にも医療関係に意識して広げていきたいと思えます。医療系は特に品質も高く高付加価値の物が求められる市場としてはマツチングすると思っております。国内で求められるものはメーカー様と直接お取引をすれば品質が良いのはあたりまえで弊社では「速さ」を徹底的に拘っております。製版から印刷加工まで出来る内製化もそうですし、全行程の進捗を全てのスタッフが共有できる「独自の生産管理システム」を使っていて製品の工程進捗度をスタッフ全員が共有できるようにしておりますので、お客様に対する回答も早く、そして製品自体

いたので、そういった方たちの受け皿になれたいという思い、「マイカラー」というサイマルを立ち上げて印刷のお手伝いをさせて頂いておられます。想定していたのは自分の為にオリジナルなものを作った印刷したいという方がいるのではないかと考えていたのですが、実際にはプレゼント用で結婚式や誕生日、クリスマスなどに自分の大切な人に贈る為に、商材は買って

また、今後の構想については、「樹脂の切削に特殊印刷という事業を伸ばしていきたい。そしてお客様を関東圏を増やしていきたい」といいます。なぜかと言うと国内の市場は東京

人精算機関連のお客様以外にも医療関係に意識して広げていきたいと思えます。医療系は特に品質も高く高付加価値の物が求められる市場としてはマツチングすると思っております。国内で求められるものはメーカー様と直接お取引をすれば品質が良いのはあたりまえで弊社では「速さ」を徹底的に拘っております。製版から印刷加工まで出来る内製化もそうですし、全行程の進捗を全てのスタッフが共有できる「独自の生産管理システム」を使っていて製品の工程進捗度をスタッフ全員が共有できるようにしておりますので、お客様に対する回答も早く、そして製品自体



独自の生産管理システム



レーザー加工機



高速・高精度切削加工機



明るい食堂